学校番号	T0110

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭科	科目	服飾文化	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「服飾文化」　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

服飾の文化やファッションへの関心を深めるとともに、必要な知識と技術を実習をとおして習得しましょう。

2　学習の到達目標

服飾の変遷と文化、着想などに関する知識と技術を習得させ、服飾文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	服飾の変遷と文化、着装などに関心を持ち、服飾文化の伝承と創造に寄与する意欲と実践態度を身につけている。	服飾文化を伝承するとともに、新たな発想で服飾文化を創造することができる。	洋服や和服の基本的な着装の知識と技術を身に付けている。	被服がその土地の気候、風土、生活スタイル等の文化や各時代の歴史的背景とかかわりながらどのように変遷してきたかを理解している。
評価方法	授業態度 実習への関心・意欲 プリント レポート	授業態度 作品提出 実習レポート	授業態度 実習での様子	授業態度 実習レポート プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 7	「服飾文化」を学ぶ目的と意義・服飾の変遷と暮らしの背景	●「服飾文化」を学ぶ目的と意義 ●衣服の起源と基本形 日本の服飾の移り変わり ●被服実習 風呂敷の作成	○ ○	○ ○	 ○	 ○	a： 服飾に関心をもち、服飾文化を学ぶことで、人間同士の相互理解とコミュニケーションについて考えを深めようとする。 b： 服飾文化を学ぶことで、新たな発想で服飾文化を創造することができる。 c: 積極的に実習に取り組み、基本的な作業ができる。 d: 衣服の起源と基本形および、洋服と和服の変遷と歴史的背景、気候、風土、文化との関わりについて理解している。	授業観察 プリント レポート 作品
8 9 10 11 12	着ることと装うこと	●着装の基本 和服の種類と着装 ●服飾文化の伝承と創造 わが国の通過儀礼と服飾 わが国の年中行事と服飾 ●被服実習 浴衣の作成	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a: 伝統を踏まえ、新たな服飾文化への意欲をもち、創意工夫している。 b: 伝統的な服飾文化について理解し、伝承する意義について考える。 c: 積極的に実習に取り組み、 和服の構造の特徴を理解しながら作成している。 d: 着装について理解し、日常生活と礼装について認識を深めている。	授業観察 プリント レポート 作品

1 2 3	服飾文化の伝承と創造	●伝統文化と服飾 服飾文化の創造に向けて ●浴衣の着装	○	○	 ○	○ ○	a: 伝統的な服飾文化について学び、服飾文化を伝承する意義と新たな文化創造への意欲をもつ。 b: 伝統的な服飾文化について理解し、伝承する意義について考えている。 c: 積極的に実習に取り組み、着装の基本が身についている。 d: 基本的な着装とマナーについて実習をとおして体験的に理解する。	授業観察 プリント レポート 作品 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。